

2019年「障がい者週間」 11月10日(日)～16日(土)

「障がい者週間」の集い

## 「命の大切さを見つめて」



うみは美しさを生みだすふるさとです

(止揚学園の子どもたちの絵)

- ① NCC 宣教会議報告
- ② 講演会「発達障がいについて」

講師 須田治さん

(聖公会信徒／首都大学東京人文科学研究科名誉教授・客員教授／  
専門：情動発達心理学／資格：臨床発達心理士スーパーバイザー)

日時：2019年11月16日(土)11時～15時

参加費：1,000円(昼食代含む)

場所：日本聖公会東京教区目白聖公会

東京都新宿区下落合 3-19-4

☆JR 山手線 目白駅から徒歩約5分。

改札口を出たら信号を渡って左手、目白通り沿いにお進みください。

☆都バス(白61・池65系統) 下落合3丁目バス停から徒歩1分。

パソコン要約筆記、手話通訳の用意がございます。

点字資料の必要の方は、ご連絡ください。

申込み・問合せ先：須賀義和(日本聖公会司祭・八王子復活教会)

TEL042-642-6105 FAX042-642-6322、e-mail:suga.tko@nsskk.org

主催：NCC「障害者」と教会問題委員会

## (スケジュール)

11:00~11:40	開会礼拝
11:40~12:15	宣教会議の報告
12:15~13:00	昼食、自己紹介
13:00~14:10	発題
14:10~14:45	質疑応答、全体討議
14:45~15:00	閉会礼拝

## (講演の趣旨)

「障害者」と教会問題委員会ではこの数年間、2016年7月19日の津久井やまゆり園の事件を受けて、「命の大切さ」をテーマに「障がい者週間の集い」を形作って来ました。今年は「発達障害について」須田治先生に発題をしていただき、討議の時間を設けたいと考えています。様々な現場で発達障害の正しい理解の必要が求められている中で課題を分かち合いたいと考えています。どうぞ奮ってご参加ください。



(止揚学園の子どもたちの絵)

## (「障がい者週間」の集いのごあんない)

1981年、国連「国際障がい者年」の「完全参加と平等」の呼びかけに気づかされ、励まされてNCC「障害者」と教会問題委員会の働きは続けられて来ました。神によって与えられた人間のいのちと平等を、明らかにされて説かれるべき教会においても、さまざまな、偏見や差別の壁がなお厚くあることをも認めながら、その教会の改善を求めて働くこと、またさまざまな社会的、政治的状況のもとで、「障がい者」の立場からの必要な発言をし、「平和・平等・共存」への働きに努めることを目的としています。皆さんと共に平和と和解の祈りと協同をささげたいと思います。ご理解とご協力をお願い致します。

## 「障がい者週間」の祈り

神さま、私達みながいエス・キリストの体である教会の交わりに共に招かれていることを感謝致します。あなたから計り知れない命の恵みを与えられながら、差別し合ったり、偏見をもって互いを受け入れることができずにいます。

権力や武力などの強さに頼り、経済優先の考え方によって人間の価値を決める社会や教育、偏見やゆがんだ習慣を作りだしてしまっている罪をお赦してください。

どうか私達があなたのみ言葉に従い、声なき声にも真に耳を傾け、互いに聴き合い、差別のない社会を作り出してゆくことができますように。知恵と勇気と信仰をお与えてください。

ことに「障がい」を負う人々と共にイエス・キリストの和解と平和の福音を伝え、全ての人々が生きる喜びを見出すことのできる社会を作っていくことができますように。私達の主イエス・キリストのみ名によってお祈りいたします。アーメン。